

いう数字も示された。

しかし、議会での議論は今からであり、検討委員会での庁舎整備のあり方等、基本的な事柄についての検討はこれからである。

そこで、建設の賛否はともかく、今後の内部検討の素材のひとつとして、新庁舎を建設するならば本来的なPFI方式で建設し、庁舎と他用途と併せた複合ビル形式としてはどうか。

【知事答弁】 県庁舎の建設にあたっては、民間の資金やノウハウを活用したPFI方式の導入についても、建設コストの縮減や負担の平準化等の効果が期待されることから、今後、基本構想等を策定する中で、建設手法の一つの選択肢として、検討していく。

高比良 元議員
(改革21・長崎市)



選択肢として検討したい。――雲仙再生のため、県が本腰を入れるべきだ。知事 雲仙復活に向け、魅力ある旅行商品づくり、国内外への情報発信を積極的に行う。企業誘致を進め、新たな借金をしないPFI方式を検討しているが、金知事 民間資金やノウハウを活用したPFI方式の導入は、建設コストの縮減効果が期待できる。今後、基本構想を策定する中で建設手法の検討を進めたい。

県議会
一般質問の焦点

3月4日付 長崎新聞

【高比良元質問】

観光地雲仙の再生について

本県の代表的な観光地雲仙は、宿泊者数で平成7年の79万6百人に対し、平成18年45万2千人と43%も減少し、大型ホテルも次々に倒産、国保や企業の保養所なども全滅の状況になっている。加えて、雲仙温泉集團施設地区内の自然公園整備も、平成15年度の雲仙お山の情報館の建設を最後に行われておらず、緑のダイヤモンド計画で事業費70億円以上かけたものの、雲仙公園事務所も閉鎖し、県営バスの運行も廃止。まさに、これまでの官民併せた投資が引き上げられ、あるいは十分活かされず、今日を迎えている。

今、地元では雲仙市観光協議会を発足させ、観光振興のための企画開発や誘致宣伝に種々努めているが、計画を具現化するには、地元の努力のみでは非常に困難だと言わざるを得ない。

全国に、そして海外に訴求しうる保養地雲仙・温泉地雲仙として、例えば、東アジアからの観光客を増大させるとか、地元の意向を踏まえつつ全国から魅力ある個店の出店を求めるとか、多方面からの出資による基金等を造成し、その運用益で全国にアピー

ルする大型イベントを打っていくとか、更には、行政の支援を通じて個性と風情あるまち並みに変えていくとか、こうしたことに地元の主体性を尊重し、県が積極的に本腰を入れて関わっていくことが必要である。

【知事答弁】 雲仙温泉は、近年のマーケットの変化に十分対応できないまま、雲仙岳噴火災害を契機に、観光客の減少が続く厳しい状況に至っている。県としても、本県の代表的な観光地である雲仙の復活に向け、雲仙の自然・歴史体験や四季のイベントを組み合わせた魅力ある旅行商品づくり、国内外への情報発信などに、地元と一体となって積極的に取り組んでいく。

【高比良元質問】

淡水湖開発の調査検討について

本県の企業誘致において致命的なハンディになっているのが、工業用水の問題である。

かつて、本県において昭和63年当時、形上湾の淡水湖開発の概略調査をしたことがあるが、その後、他地区を含めてこうした調査は実施されていない。

企業立地には工業用水の提供が不可欠である。また、企業が立地を模

討する場合に附される条件であることが明確である以上、形上湾に限らず、大村湾のいずれかの適地、あるいは、その他の海域で農業用水の確保も視野に入れ淡水湖化についての可能性調査や環境影響評価等を事前に積極的に行うべきと考える。

【知事答弁】 淡水湖化については、旧大村火力発電所の事業再編に対応するために隣接する海域に整備する案も検討したが、実施に至らなかった。水源確保については、工業団地の場所や規模等を考慮しながら、市町と連携し、淡水湖化を含めた様々な調査・検討を行っていく。

お願い

◎県政リポートを配布していただけるボランティアを募っています。

◎政務調査活動の一環として各地でミニ集会を開催します。何人でも結構です。集会を開いてくださる方を募っています。

◎連絡をお待ちしています。
(連絡先は表紙に表示。)

ご意見・ご相談・ご要望は
いつでもお気軽に！